

1105	<b>キャンパスアジア日本研究「 中韓学生とともに日中韓歴史 教科書を読む(LA)」</b>		
英名科目名	Japanese Studies in Campus Asia 3(LA)		
大学名	立命館大学		
連絡先	【衣笠教学課】TEL：075-465-8310		
担当教員	桂島 宣弘		
開講期間	2021年4月6日(火)～2021年7月21日(水) <毎週火曜日> 2時限：10:45～12:15  <教室案内> 「立命館大学の開講科目を受講する皆様へ」から 確認してください。 <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</a>  補講日や祝日授業日など、学年暦は立命館大学 HPから確認してください。 <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/profile/info/calendar/">http://www.ritsumeai.ac.jp/profile/info/calendar/</a>		
開講形態	前期・春学期	開講曜日・講時	火曜日 2講時
単位数	2	履修年次	2年生以上
会場	衣笠キャンパス		
授業定員	30		
単位互換生定員	10	京カレッジ生定員	0
試験・評価方法	【平常点評価】100% 授業への参加度、小課題ペーパー、発表・質疑応答を総合的に評価する。 * 受講生の積極的な参加、発表・討論などで運営される授業のため、1/3以上欠席した者の単位は認めない。 * 提出物の遅延・未提出は減点する。		
超過時の選考方法	書類選考		
受講料			
別途負担費用			
その他特記事項	<p>新型コロナウイルス感染症への対応情報について</p> <p>立命館大学では、新型コロナウイルス感染症に対する独自の行動指針(BCP)を設け、BCPレベルに応じて授業実施形態や入構制限等を判断しています。</p> <p>立命館大学の行動指針(BCP)や入構制限状況、その新型コロナウイルス感染症への対策等の情報は以下HPからご確認ください。</p> <p>&lt;新型コロナウイルス感染症に関する特設ページ&gt; <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=1679#page-title1">http://www.ritsumeai.ac.jp/news/detail/?id=1679#page-title1</a></p> <p>シラパスの内容は本掲載内容から変更になることがありますので、立命館大学HPから最新のシラパスを確認してください。 <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlinesyllabus.htm">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/gaku/onlinesyllabus.htm</a></p> <p>【諸手続】(単位互換生のみ) 立命館大学では、4/6(火)から順次春学期の授業が始まります。 本科目の受講を希望する場合、受講が許可される前に立命館大学のシステムを利用するための仮受講用IDを発行します。 出願手続きとは別に、下記ホームページで仮受講の案内を確認し、仮受講用IDの発行手続きを行ってください。 &lt;仮受講用ID発行手続案内ホームページ&gt; <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</a></p>		

受講が許可された場合は下記ホームページで手続の案内をしますので、必ず期間内に手続して、特別聴講生証を受け取ってください。期間内に指定の手続のない方は、試験の受験や通常授業の受講ができませんので注意してください。 <受講手続案内ホームページ> <a href="http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html">http://www.ritsumeai.ac.jp/acd/ac/kyomu/kyotuu/enraku.html</a>
新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の関係で中国・韓国学生への立命館大学への留学を中止する場合は、受講決定後、授業開始までの間に京都コンソーシアム単位互換生の受け入れを取り止める可能性がある。
パッケージ科目
低回生受講推奨科目
講義概要・到達目標
<p>【授業の概要】</p> <p>本講義は「キャンパスアジアプログラム」学生(広東外大・東西大3回生)が協働学習を行うことで、「東アジアからみる日本」についての理解を深めます。講義は「日本語」で行います。日中韓の歴史教科書(近現代史部分)を読解し、比較・対照することで、東アジア近現代史を多角的に考えていきます。読解テキストは原則として日本語翻訳版を使用します。</p> <p>各項目・事象の読解は講義前に行い、比較・対照シートにまとめてくる。</p> <p>該当項目の日本の歴史教科書を読み、内容を理解する。講義時にはシートをもとにグループ・ディスカッションを行う。ディスカッションの内容を共有し、教科書記述の共通点や相違点、記述に潜む歴史観について理解を深める。</p> <p>本講義は、「キャンパスアジアプログラム」学生(広東外大・東西大3回生)と「コンソーシアム京都」受講生のみが受講できます。</p> <p>【受講生の到達目標】</p> <p>日中韓の懸案事項の一つである、歴史教育の現状について理解できる。</p> <p>日中韓の歴史教科書記述を読み、その共通点と相違点について具体的な知識を獲得する。</p> <p>討論を通じて互いの歴史認識に関して理解することで、自らを相対化できる。</p> <p>アカデミック日本語を駆使して、円滑に発表や質疑応答が行うことができる。</p> <p>【受講および研究に関するアドバイス】</p> <p>* 授業は原則として「日本語」で運営される。 * 授業前に課す小課題ペーパーは、グループ・ディスカッションのもとになるので、各自しっかりと作成してこよう。 * 自国の教科書の視点を絶対視するのではなく、他の教科書の視点についても理解を深めるよう、努力すること。</p> <p>【授業外学習時間の指示】</p> <p>日中韓教科書比較： 朝日新聞取材班編『歴史は生きている 東アジアの近現代がわかる10のテーマ』(朝日新聞出版、2008)の各章を講義の進度に応じて熟読する。 講義の進度に応じて、日中韓の歴史教科書の該当箇所を読む。 日中韓3国共通教材委員会編『新しい東アジアの近現代史』上・下(日本評論社、2012)の関連項目を熟読する。 1-3の作業を行ったうえで、小課題ペーパーを作成し、毎回提出する。</p> <p>【授業内外における学生・教員間のコミュニケーションの方法】 manaba+R,学生との直接対話,その他(教員より別途指示)</p>
講義スケジュール
<p>第01回</p> <p>【リアルタイム講義】オリエンテーション &lt;キーワード・補足事項等&gt; ・ 授業運営・方法、評価基準などに関する説明</p> <p>第02回</p> <p>【動画配信】歴史教科書はどのように作られ、使われるのか 日本の場合</p>

<キーワード・補足事項等>  
 ・日本の歴史教科書の作成過程や方針についての講義

第03回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓歴史教科書比較  
 アヘン戦争と明治維新  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第04回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 日清戦争と台湾割譲  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第05回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 日露戦争と朝鮮の植民地化  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第06回  
 【動画配信】教科書比較まとめ  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・これまでの授業で提出された論点について、全体で共有し、今後の東アジアにおける歴史教育について考えるべき点について討議する。

第07回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 辛亥革命と民衆運動  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第08回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 満州事変と「満洲国」  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第09回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 日中戦争  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第10回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 アジア・太平洋戦争と国共内戦  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第11回  
 【動画配信】教科書比較まとめ  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・これまでの授業で提出された論点について、全体で共有し、今後の東アジアにおける歴史教育について考えるべき点について討議する。

第12回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 朝鮮戦争・ベトナム戦争  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第13回  
 【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 日韓・日中国交正常化  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第14回

【リアルタイム講義】【課題提出】日中韓教科書比較 中国改革・開放、韓国・台湾の民主化  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・日中韓の歴史教科書の該当箇所の記述を確認し、グループ討論を行う。

第15回  
 【リアルタイム講義】総まとめ  
 <キーワード・補足事項等>  
 ・これまでの比較で議論となった点を再確認した上で、今後の東アジアにおける歴史教育について考えるべき点などについて討議する。

【授業実施形態】  
 今学期の講義は、新型コロナウイルスの感染状況に応じてmanaba+R、Zoomを通じてのオンラインになる場合があります。  
 <BCP レベル 1-2>  
 ・第1回～15回を対面にて実施  
 ・事情により、対面での出席ができない学生のために、Zoomによる同時配信を行う  
 <BCP レベル 3-4>  
 ・第1回～15回を Web にて実施

教科書	以下の[書名][著者][出版社][I S B Nコード]を参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>『日本史A 改訂版』老川慶喜ほか著 山川出版社 9784634700130</li> <li>『世界の教科書シリーズ(11)『中国の歴史』人民教育出版社歴史室著/小島晋治ほか訳 明石書店 9784750319049</li> <li>『世界の教科書シリーズ(24)『韓国近現代の歴史』韓哲昊ほか著/三橋広夫訳 明石書店 9784750329864</li> </ul> <備考> 歴史教科書の分析資料として使用する。資料はすべて配布する。
-----	--

参考書	以下の[書名][著者][出版社][I S B Nコード]を参照 <ul style="list-style-type: none"> <li>『歴史は生きている 東アジアの近現代がわかる10のテーマ』朝日新聞取材班編 朝日新聞出版 9784022504562</li> <li>『新しい東アジアの近現代史[上]』日中韓3国共通歴史教材委員会編 日本評論社 9784535586307</li> <li>『新しい東アジアの近現代史[下]』日中韓3国共通歴史教材委員会編 日本評論社 9784535586314</li> <li>『超越国境的东亚近現代史[上]』中日韓三国共同历史编纂委员会 社会科学文献出版社 9787509739334</li> <li>『超越国境的东亚近現代史[下]』中日韓三国共同历史编纂委员会 社会科学文献出版社 9787509739334</li> <li>『(上記書籍の韓国版1)』9788958624950</li> <li>『(上記書籍の韓国版2)』9788958624967</li> </ul> 【参考になるwwwページ】 朝日新聞デジタル「歴史は生きている」 <a href="http://www.asahi.com/international/history/">http://www.asahi.com/international/history/</a> 参考書1の元になった記事。日中韓英四か国語で掲載。 桂島宣弘のウェブページ <a href="http://www.ritsumei.ac.jp/~katsura/index.html">http://www.ritsumei.ac.jp/~katsura/index.html</a>
-----	--